

	1明るく元気な地域づくり	2安全で安心な地域づくり	3健康で豊かな地域づくり	4相談しやすい体制づくり
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・休日親子ふれあい広場 ・満日地区世代間交流事業(花植え・さつまいも苗植え) ・阿賀満にじいろまつり ・どんど焼き ・満願寺校 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練(避難所清掃活動) ・満日地区環境美化活動 ・個別避難計画作成(満願寺町内会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・満日地区文化祭 ・満日フォトコンテスト ・ふるさと健康講座 ・地域の茶の間まんまるサロン 	<ul style="list-style-type: none"> ・声掛け訪問(訪問員打ち合わせ会) ・買い物送迎支援(ふり返し検討会)
活動の様子	 <p>花植え・さつまいも苗植え</p>	 <p>満願寺校</p>	 <p>防災訓練</p>	 <p>声掛け訪問打ち合わせ会</p>
取り組んでみての課題	<ul style="list-style-type: none"> ○休日親子ふれあい広場 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の参加者が増えてきたため、安全に遊べるスペースの確保や遊具の整備が必要。 ○世代間交流事業 <ul style="list-style-type: none"> ・花植え・さつまいも苗植え子どもの参加者が減ってきている。 ○阿賀満にじいろまつり <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意見を取り入れて変更して実施。来年度も継続の予定。 ○満願寺校 <ul style="list-style-type: none"> ・もう少し詳しく周知されるとよい。 ○七日町町内会 <ul style="list-style-type: none"> ・町内会館を新しくしたため、利用を促進していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> ・水害時どこまで水が上がるのか確認し、今後の避難所のキャパの確認をし、今後の避難訓練の参考にしていく。 ・避難所運営委員会の検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと健康講座 <ul style="list-style-type: none"> ・グランドゴルフが好評だが、パターの数がないため、検討したい。 ・一度実施した講座のふり返しができるとうい。よい内容をしているので、その後の生活に定着していくとうい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○声掛け訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問員の後継者がいない。 ・見守りが必要な方を民生委員や町内会と共有できる体制を作れるとうい。 ○買い物送迎支援 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の出欠確認で電話連絡を行っているが、電話のタイミングが難しい。 ・施設で感染症が広がってしまった時に買い物支援への対応ができないかもしれないため、心配。 ・利用者が増えると車の乗車できる人数に限りがあるため、難しい可能性もある。施設と相談しながら進めていく。
取り組んでみての評価	<ul style="list-style-type: none"> ○休日親子ふれあい広場 <ul style="list-style-type: none"> ・ボール等の遊具を追加で購入し、多くの子どもが遊べる工夫をした。 ・スクールバスのバス停にチラシを貼るなど工夫し、事業が周知されてきた様子。 ・中学生や幼児が多く、地区外からも参加があった。今年度は89名参加し、参加者が年々増えている。 ○世代間交流事業 <ul style="list-style-type: none"> ・けやき福祉園の利用者も参加し、地域と施設の交流になった。 ・阿賀小の満日の委員も一緒に活動できた。 ・収穫祭の天候が悪かったため、室内での食事会に変更したが、約 50 名の参加があり、無事開催できた。 ○満願寺校 <ul style="list-style-type: none"> ・月 1 回の予定で計画し、実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> ・避難所である旧満日小の校舎の清掃を区役所と連携して行った。 ・訓練後、炊き出し訓練も実施した。 ○個別避難計画作成(満願寺町内会) <ul style="list-style-type: none"> ・希望者の方全ての作成ができた。 ・作成の中で民生委員と自治会で情報共有ができた。 ・町内で世帯票の記入もしてもらっている。 ○環境美化活動 <ul style="list-style-type: none"> ・例年通り実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○満日地区文化祭 <ul style="list-style-type: none"> ・満日カフェを作り、来た人が交流できるように工夫し、多くの利用があった。 ・福祉施設からの出店もあり、昨年より大幅に参加者が増加した。 ○満日フォトコンテスト <ul style="list-style-type: none"> ・市外や中学生から応募があった。 ○ふるさと健康講座 <ul style="list-style-type: none"> ・参加スタンプの導入、開催内容の工夫、毎月チラシを作成して周知など工夫を行い、参加者が少しずつ増加している。 ・孤立・孤独防止になるような取り組みを続けていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○声掛け訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・年 3 回訪問員の打ち合わせ会を実施した。 ・持参物を工夫したことで、喜ばれた。 ○買い物送迎支援 <ul style="list-style-type: none"> ・協力いただいている施設に感謝している。 ・利用者も楽しみにしている。 ・今年から12月も降雪がなければ実施することとしたが、無事実施できた。 ・施設の外国人労働者も同行し、一緒に買い物する機会を作っていきたい。

	1明るく元気な地域づくり	2安全で安心な地域づくり	3健康で豊かな地域づくり	4相談しやすい体制づくり	
取り組んでみての評価	<ul style="list-style-type: none"> ○阿賀満にじいろまつり <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が最初に集中してしまった。 ・子どものお金の使い方が心配。 ○どんど焼き <ul style="list-style-type: none"> ・強風で延期となってしまったため、参加者が少し減ったが無事開催できた。 ・甘酒などをふるまい、交流できた。 ・阿賀野川河川公園で実施のため、河川事務所から取材があり、今後の新たな活用に繋がるのかもしれない。 				
5年間の評価					
<p>各基本目標に向け、計画書に書かれていることに取組んだかどうかで評価し、懇談会に参加した地域の皆さんがお一人ずつ評価してくださいました。 A=80%以上取組めた(新規活動や既存活動の工夫を行った) B=50%の取組み(既存の取組みの継続) C=30%の取組み(道半ば・やめてしまった)D=全く取組みなかった ※グラフは、評価をつけた方の人数の割合です。</p>					
地域に残る福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ○交流 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の交流が少なくなっている。 ・町内のまつりなどから交流を広げていくことを大切にしている。 ・隣組など小さな単位での取組みも大切。 ・コミ協のイベントで人との交流を促す工夫があるとよい。 ・健康に長生きするには、交流が大切。 ○参加促進 <ul style="list-style-type: none"> ・徐々に衰えてくる高齢者を誘い出す工夫や声掛けが必要。 ・体の不調によって参加できない人もいる。 ・行ってみたいと思える内容を考えたい。 ・健康づくりの内容だと若い人は来ない、高齢者は来れないため参加に繋がらない。誰に来てもらいたいか考えていく必要がある。 ・元気な人にも参加してもらえるとよい。 ○周知 <ul style="list-style-type: none"> ・回覧板見ない人が多く、情報が伝わらない。 ・回覧板以外の周知が必要になってくる。 ・満願寺町内会では町内でラインの公式アカウントを作り、デジタル回覧を行っている。 ・コミ協も Wi-Fi、パソコンを導入し、ホームページを作成した。 ・デジタル化をもっと進めていけるとよい。 		<ul style="list-style-type: none"> ○情報共有 <ul style="list-style-type: none"> ・本当に困っている人を民生委員と情報共有できるとよい。 ○ひきこもり、孤立 <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり多いがどう関わっていくかが課題。 ・コミ協事業に参加できない方が孤立している。隠れた弱者のことを考えていく必要がある。 ・信頼関係を構築するのが難しい。 ○緊急情報キット <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの方の緊急時の対応が難しいため、緊急情報キットの見直しが必要。 ・声掛け訪問の際に緊急情報キットの更新の声掛けは行ったが、別居の家族が来たら書いてもらうと言われ、本当に書いてもらえたかは分からない。 ・緊急情報キットの活用について今後の検討が必要。 ○支え合い <ul style="list-style-type: none"> ・除雪ができるのか心配な方もいるため、大雪の時など考えていく必要がある。 ・一人暮らしの高齢者は除雪できずに困っている人もいる。 ・屋根からの落雪や家の前の階段の除雪など心配。 ・空き家や一人暮らしが多い。 ○地域の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以降取組みが少なくなり、復活できていない。 ・高齢者が多いということは経験が豊富。経験を活かして若い世代を育てていけるとよい。 		

[参加者]満日コミ協:杵鞭副会長、大田副会長(満願寺町内会長)、柳澤副会長(七日町町内会長)、小濱会計、杵鞭事務局長、小池事務局次長、教育・文化部 小檜山部長、福祉・健康部 皆川部長、杵鞭副部長、小濱副部長(満願寺民生委員)、帆苺部員、高橋部員、山田部員、井上満願寺元町内会長、田中老人クラブ会長(満願寺)、関川民生委員(七日町)、癒しの里連絡協議会:はさぎの里 山本様、けやき福祉園 佐藤様、ぶどう工房 志田様、満日の里 桑野様 秋葉区社協:秋山事務局長補佐、米山、時田